

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2008
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.25, (2008.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20080000-0284

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介(掲載順)

進藤 咲子
東京女子大学名誉教授

前坊 洋
東北公益文科大学教授

安西 敏三
甲南大学教授

平山 洋
静岡県立大学助教

太田 昭子
慶應義塾大学教授

デヴィット・A・デイルワース

ニューヨーク州立大学
ストニーブルック校教授

アルバート・M・クレイグ
ハーバード大学名誉教授

李 栄
大阪大学大学院
国際公共政策研究科博士後期課程

星野 高德
慶應義塾大学大学院
商学研究科後期博士課程

白山 映子
東京大学大学院総合文化研究科
超域文化科学専攻研究生

林 宗元
韓国関東大学校教授

編集後記

本巻は、前巻に引き続き「慶應義塾創立百五十年・慶應義塾福沢研究センター開設二十五周年」の特集である。『近代日本研究』は、年に一度の刊行を原則としているが、二〇〇八年は慶應義塾創立百五十年・福沢研究センター開設二十五周年にあたる年であるので、前巻を三月に刊行し、本巻の刊行を四ヶ月ほど早めて、百五十年記念式典が行われる十一月に刊行することになった。

現在、慶應義塾では百五十年を記念するさまざまな事業が展開されているが、福沢研究センターでも開設二十五周年を記念した講演会を本年五月三十日に開催し、多くの参加者を得て、成功裡に終わることができた。初代所長の石坂巖氏、副所長の内山秀夫氏が最近、相次いで鬼籍に入られ、記念講演会でその姿を見ることができなかったことは、残念であった。福沢研究センターは、塾史編纂所・塾史資料室という長い前史があるとはいえ、二十五年前に新たな組織として発足したこの意味は再認識されなければならないだろう。

『近代日本研究』も、開かれた雑誌として論文の一般公募を行っているが、前巻からの期間が短かったにも拘わらず、四人の応募者があり、二本の論文、一本の研究ノートを掲載することができた。

次巻は、二〇一〇年三月に刊行の予定である。多くの論文が投稿され、さらにレベルアップしたいと考えている。